

(図1) 科学情報の生産プロセス

研究開始



研究室内での検討-----ここまでは、まだ公の場には出ていない
所属する機関内などで批判し合う



学会発表

-----初めて公となる。学会で発表された演題は、学会誌や *Proceedings of, Annual Meeting of.....* というタイトルで出版される場合もある。抄録 (Abstract) といって研究の概要を説明したものが掲載される。



Letter 論文

-----研究成果の優先権を得たいとき、とりあえず簡潔にまとめた論文を発表しておくことがある。このような論文を letter 論文という。速報性を重視しており物理・化学分野ではよく普及しているが、他の分野ではあまり見られない。



原著論文

-----オリジナル論文ともいう。雑誌に掲載される論文の中でも最も重要。国内誌に掲載されれば全国の、世界に流通している雑誌に掲載されれば全世界の研究者たちに読まれるところになる。



Review 論文

-----ある特定分野の最新の研究動向を解説している論文で、その分野の現状、問題点、今後の展望を知ることができる。多ページで文献リストを多く掲載しているのが特徴。



大系書

-----各分野の知識を体系的にまとめたもので、教科書よりも深く掘り下げて書かれている



教科書

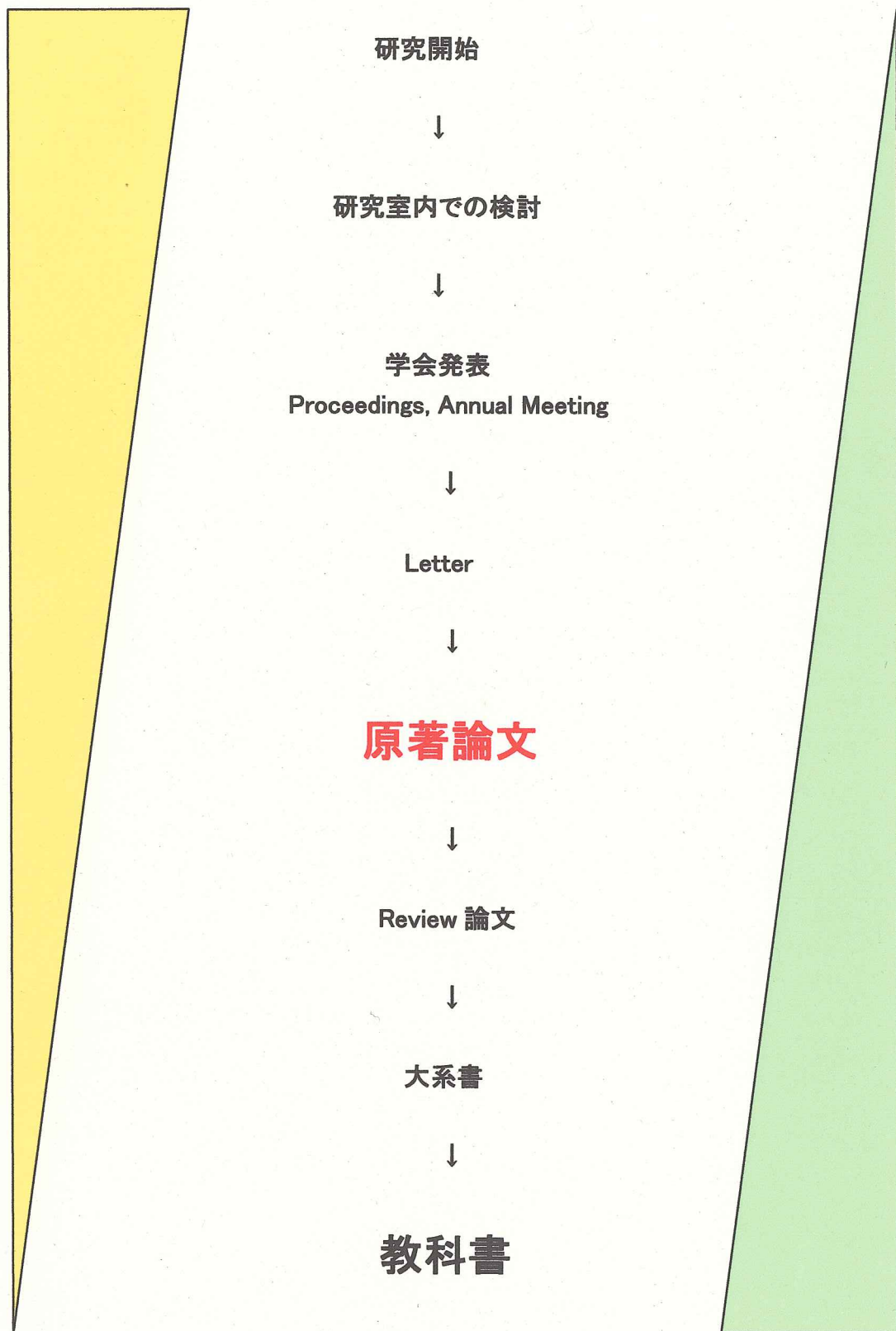
-----学習のためのスタンダードな情報を中心に掲載している

科学情報というのは、およそこのようなプロセスで生産され流通しています。
次にこれらの情報を「速報性」「信頼性」という観点から見てみることにします。(図2 参照)

(図 2)

速報性

信頼性



■情報の「速報性」と「信頼性」は相反する傾向にある